

かさおか

発行所
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311



「朝顔」

竹本 久子 作

をやの思いをにをいかけ、

うちうち

内治に心を配り おたすけに誠の心を尽くそう

1. 一歩前進 百万軒
2. おつとめの徹底とひのきしん
3. 機を逃さず おさづけの取次

特集

西境内地拡張整備始まる

去る六月二十五日午後一時、神殿にて「事始め」の「お願いづとめ」が勤められました。そして二時から、参拝者総出の土持ちひのきしんが行われました。

折からの親里は曇り空の蒸し暑い一日でしたが、噴き出る汗も何のその、一荷の土に真実を込め、老若男女約二万人が伏せ込みの汗を流しました。笠岡大教会からも数十名が参加しました。部内の或る会長さんは「この一荷の土が親里の整備につながると思うと、ありがたく勇まらずには居られません。」と、話していました。



「真実の汗を流そうと、本部中庭は、全国各地より土持ちひのきしんに集まった教友たちで埋め尽くされる。」



この土持ちひのきしんは、再来年の春まで続きます。お互いおちばがえりの時は、一人でも多く土持ちひのきしんに参加しようではありませんか。

縦の伝道講習 育成講習会開催さる

去る六月二十一日、大教会月次祭に梅雨の蒸し暑い中にもかかわらず大勢の参拝者をいただき「縦の伝道講習会」が開催されました。最初にある教会で実施した「教会おとまり会」のビデオを鑑賞し、その後、少年会本部委員の高橋尚生先生の講話を拝聴しました。

先生は先ず教祖逸話編の一説、

『梅谷四郎兵衛さんが子供を連れて教祖にお会いした時、その子供が教祖が赤い着物をお召しになっているのを見て「達磨はん、達磨はん」と言ったので、四郎兵衛さんがすっかり恐縮して、次にお屋敷に帰った時には、その子供を同伴しなかったが、その時教祖は「四郎兵衛さん、道切れるで」と云われ、道というものは小さいときから写していくものや、とお諭し頂いた。』

という逸話をお話しをされ、子供に信仰の喜びを伝えていく大切さと、それを続けることの素晴らしさについて、また自身の子供さんたちとの日常の親子のふれあいを通じての縦の伝道の大切さをユーモアを交えて、また丁寧にお話し下さいました。

また、今年「こどもおぢばがえり」が始まって五十年の節目の年になるので第一回の

ひのきしん子供おぢばがえりの元一日の思いにかえり、今年は特に帰り集った子供達にひのきしんの喜びを味あわせてあげて頂きたいと話を締めくくられました。

また、昼食後、「育成講習会」が少年会本部委員の田川あき子先生を講師としてつとめられました。今回は「教会おとまり会」を推進する為、いつもの講習会のパターンである講話とゲームというプログラムではなく、集まった幼児から小学生を相手に実際に教会でおとまり会をする時の子供達の楽しませ方を実演してもらい、それを育成会員が勉強するという形で始めました。

じゃんけんゲームから始まり、パネルシアターでおなじみのビックキーやリボンちゃんが登場すると、子供達の喜びモードは最高潮。さすが、子供達をとりこにする技術はプロという感じでした。

笠岡団では、教祖百二十年祭までに、全教会が教会おとまり会を実施するよう活動目標に掲げて推進しております。教会おとまり会を通じて将来の若きよふばくが誕生することを夢みて、否それを目指しておとまり会の定着をさせて頂きましょ。

(少年会 団長)

こかん様に続く会

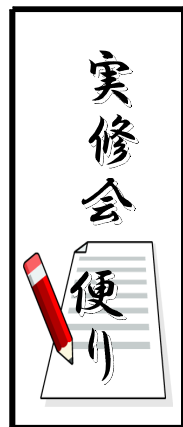
日時 平成15年8月23日(土) 午後4時半 受付・5時 開講
24日(日) 午後1時半 閉会予定

場所 笠岡大教会

内容 支部長様挨拶、お話し、にをいがけ、ひのきしん、お楽しみ行事、(バーベキュー、花火)他。

対象 中学3年生～高校3年生

(教会子女は必ず参加して下さい。)



にをいがけ・おたすけ 実修会を終えて

福実布教所長 酒 井 實

この度、にをいがけおたすけ実修会の要員として出させて頂き、まず最初に、おかきさげについての勉強会、そして、暑い中ではありましたが全員揃ってにをいがけに歩かせて頂きました。おかきさげについては、私自身暗誦出来る程覚えては居ましたが、前もって大教会で内容についての研修を受けてみて、その内にこもる親神様の深い親心、及び用木としての日々の心の持ち方通り方というものを、改めて痛感した次第です。教会へ出させて頂くに当たり、久し振りにおさしづを開き、ある程度準備もしていよく、当日、ところが自分なりに考えていた事の半分も、参加者の方々に伝える事が出来ず、誠に申し訳なく力不足を感じました。にをいがけについては、ポストに入れるだけではなく戸別訪問をして直接手渡しをする、と言う事で廻らせて貰い、行く先々での会話の中に、親神様教祖の先廻りの御守護を感じ、有意義な布教実修会であつ

たと思えます。最後のねりあいでは、現代の医学でも治療が難しいと言われる身上を頂かれた方のおたすけに、教会一丸と成って、おさづけの取り次ぎに、又十二下りのお願いつとめをつとめられ、現在御守護の姿を見せて頂いていると言うお話を聞かせて頂き大変感銘して帰らせて頂きました。

私自身、昔毎日の様に布教に歩いて居た頃はチラシ配りが主体ではなく、断られながらも何回も足を運び、何とか神様のお話を少しでも聞いて貰うように心を尽くした、にをいがけおたすけであつたような気がします。

しかし、現在では、只パンフレットを配るだけで、別に断られる事もなく、追返される事もない。拳げ句にはご苦勞様ですと御礼まで言われる。それで今月の布教は終わったと自己満足している自分をふり返って見た時に果たしてこれでいいのか、道の初代の人達は、今日はチラシ何枚配らなければとか、別席者修養科生を何名という思いの布教ではなく、自分の因縁を悟り御恩報じを思い、只々人様にたすかつてもらいたい、それだけの道中であつたと思う時、教祖百二十年祭三年千日の時句を頂いて居る今日、もう一度、あの毎日歩いていた頃の様な布教に戻らなければと、にをいがけおたすけ実修会を終えて自問自答する今日この頃である。

にをいがけおたすけは行事ではないから。

少年会笠岡団 夏期練成会 (サマー キャンプ)

と き	8月22日(金)～8月24日(日)
と ころ	観音寺ファミリーキャンプ場
内 容	ハイキング、水泳、キャンプファイヤー、野外ゲーム他。
対 象	小学3年生～中学3年生、高校生はスタッフとして参加。
定 員	50名
参加お供	3,000円(米2合と野菜1品)
申 込 み	8月18日迄、各ブロック委員に申し込んで下さい。

にをいがけ・おたすけ 実修会

品治分教会長 渡 邊 眞 次

要員の中では、一番高齢になるようです。責任だけは果たさなくてはと思いましたが、原稿の依頼の方が戸惑いを感じます。派遣に先立ち、大教会より勉強会のおかきさげについて、読書百遍自ら通ず、と言いますから何回も読みました。そのお陰か原稿ごと一件、書類忘れて行きましたが、何とかつとめられました。又おさづけの取次に廻ることに専念した。一人でも多くの人が、人だすけの出来るよう成人させて頂くことが切望されている。

或る家の老主人が、脑梗塞で半身不随になられ、良く転ぶ。息子夫婦に恵まれず、老夫婦の健在が家運を左右する。「奥さんもおさづけを頂いているので、今主人が倒れたらどうします。主人に取り次ぐのは恥ずかしい事はない筈。奥さんも胃を三分の一取っている。「人をたすけて我が身たすかる。」どうかおさづけを取り次いで下さい。」と念を押して帰った。次に行った時、棚からおかきさげを出して、三十年一度もしなかつたおさづけを取り次ぐようになった。主人も悪化の一途が止まった。我が教会も表を書き始めて三年、取り次ぐ人が徐々に増加している。又嫁いだ娘の家

庭を思い、孫を修養科へ、家族を別席へと運ばせ、最近一家中を教会へ参拝させるようになった役員もいる。そんな話も交えて、一時間のお話。

私の派遣先は山間の教会で、会長様の不在の時は役員達で教会を守っている。すばらしいよふばく達が居られる。二、三軒歩いて又暫く歩いて二、三軒、一時間七人で歩いても僅かの軒数です。中にも留守がある。そこで直接対話だと、おぢばがえりの話、教祖百二十年祭がつとめられること、かりもの話等させて頂いた。

『いついつまでもつちもぢや

まだあるならばわしも行こ』



ENGLISH SEMINAR

- ◇期 間 8月22日(金) 午前10時 受付 ~ 24日(日) 午後2時頃 解散
 - ◇受講対象 中学一年生以上 ~ 高校・大学生・一般。
 - ◇受講御供 2, 500円。
 - ◇持 参 品 英和・和英辞典、筆記具、着替え、洗面具。
 - ◇プログラム パソコンを使った英語の学習、英会話、おつとめ
レクチャー、ひのきしん
 - ◇お問合せ 詳細は、スタッフの 香取 雅人 ☎(086-528-0850)
吉岡誠一郎 ☎(086-282-0550)
- (ご連絡下されば、JR大門駅まで送迎致します)

にをいげけに出る事をためらう姿を感じたが、必須科目ですからと、全員参加パンフレットを配る。歩いてみて大変だったが、共に勇んで頂きました。山間部の人の受け方、素直さ穏やかさには好感がもてた。

ねり合いで感じたことは、教会長自らが手本を示すこと。本を読んでも、話を聞いて、感動はしても実行しない。奮起はしても、実動が出来ない。真剣に通る姿を見ることがなければ、話だけで終わる。後へ続くものへの無言の導きは、誰か身に行って通る人がいなくては、それは教会長先頭になり、汽車なら、機関車の役目を果たさなければならぬ。と自分に言い聞かせ、今日一日のつとめに、思いは残るが、いい勉強をさせて頂いた。と思いつら教会を後にした。

誠の心

簸ノ川分教会長 津森 朋之

六月二十二日に富士分教会の実修会へ要員として行かせてもらいました。今回はおかさぎの勉強をさせて頂くと云う事で、大教会でも要員の勉強会を開催頂きましたが、そのまま投げっぱなしで、直前になって慌てて資料に目を通し、ぶっつけ本番の実修会となりましたが、一生懸命お聞き頂き恐縮しました。おかさぎは、私にはむづかしいテーマで、

お話しするこちらがこんがらがってきそうで、なんとかわかりやすく、例をあげて話そうと心掛けました。おかさぎの中では特に誠の心という所が大切な角目となりますが、誠の心の持ち主と言えば、本席様はじめ、幾多の先人の先生方がいらっしやいます。勝手ながらそんな話も少し入れさせてもらいました。そうした話の種となる親おやをもてた事は有り難い事だと改めて思いました。

稲富士分教会の担当されているにをいげの地域は、教会から車で三十分もかかる何万軒もある広大な新興住宅地ということで、全市で七千軒しかない我が市と比べ、教会の皆様方のご奮闘振りがしのばれました。

丁度お昼時でしたが、蒸し暑い中汗びっしょりになって、共々にをいげに歩かせて頂きました。帰会后、奥様手作りのおいしいカレーを頂きながら、楽しくお話しをさせて頂きました。島根への帰路、念願であった毛利元就居城である吉田の郡山城址に登りました。青三井山の尼子氏との古戦場を眺めながら、いにしへの戦国時代に思いを馳せました。これも実修会のおかげです。ありがとうございます。大教会よりお打ち出し下さる三つの実践項目を三本の矢として、教祖百二十年祭に向かつてまっしぐらに突き進んで行こうと思えます。

新入会員研修会

少年会を卒業した青年は更なる成人を求めてこそ飛躍する！

【参加対象】 昭和62年(1987)4月2日生まれ～昭和63年(1988)4月1日生まれの男子
【開催日時】 立教166年8月30日(土)午前11時～翌朝食後
【場所】 天理教笠岡大教会
【内容】 懇親会、研修、練り会い、お楽しみ、他。翌日布教推進週間事前研修会参加
【参加費】 500円

☆ 担当スタッフ連絡先 ☆

直 I ・	直 II	森本正典	☎090-9739-3185
福	山	平盛尚樹	☎090-5262-2352
高	屋	北川勇二	☎090-7375-7226
島	根	高島伸雄	☎090-3727-0427
久	松	中村真人	☎090-3727-0427
上下・	府中市	本多正悟	☎090-4102-5373

主催 天理教笠岡大教会青年会 育成部

談話室



楽しみの日々をつなげて

島中分教会長 内海 安子

因島大橋を渡ってやがて因島北で降りる。村上水軍城の五〇〇M先に島中分教会が位置している。今日は教会のすぐ隣に住む九十三歳のKさんのお話をさせて頂きます。

元から住んでいる古い人達は、Kさんと言えば天理教のおばあちゃん、大概の人は知っています。Kさんは高田八助初代様の頃より親に手を引かれて参拝すること約八十五年近く教会へ繋がって下さっています。

今も元気でひのきしん・近所へのチラシ配り・ひ孫たちへおさづけの取り次ぎなど、年とは思えない程健在でおられます。それでも若い頃は兄妹たちの子供さんを面倒をみて家計をやりくりし乍ら育てあげられました。

Kさんの口癖は「主人には相当苦労させられ恥をかいた」と、定職がなく多勢の人が生活するのは大変だった、けれども信仰のお陰でここ迄つれて通って下さったと話をされる。

ある時は茶目気で自分のことを「いつ迄生きるといふか。風邪もひきやせん。」と私の顔を見てはつい言葉がもれてしまう。「バアちゃん。島中の神様はKさんが大好きなよ」と言つ。

五年前に脳梗塞の身上となった。平成十年八月八日、祭典も終り、直ぐに病院へお救けに行かせて頂いた。もう見るからに救かりそうにないと、つい頭によぎったが、月次祭の理を頂いて救ってほしいと一生懸命お願い致しました。

「Kさん。お救けさせてもらうね」と云つと、もうろうとした状態なのに、ハッキリと「お願いします」と言つた。その時のことをKさんは云う。あの時お救けして頂いたのはつきりと覚えている。あの時から元気になったと云って下さって、本当に良かったと嬉しく思いました。

そんな中、このまゝ病院にいては本人も帰りたいと泣くし、嫁さんや孫たちもKさんが弱ってしまうと判断して、自宅で看護すると覚悟をきめ、医者の方を押し切って退院した。

退院すると、毎日、朝からねむっている事が多いので、このまゝでは頭がぼけるのではと、又々心配になり、相談を受けた。「Kさん。教典を書かせてもらったらどうですか」と言つた。その一言で、今では百冊近くノ

トへ書き、五年近く、朝から時間があれば夜迄、毎日楽しみに勉強くと云っては机に向っています。

以前は嫁姑の仲が悪く、近所・教会へ来てはぐちをこぼしていましたが、教典を読み書きさせて頂くことよって、家庭も大変円満になり、外歩きも必要以上になくなり、皆さんに大切にされています。

親・子・孫・ひ孫と、四代、親の背中を見て育つ信仰一家を、私も心より応援させて頂くと共に、良いことは見習って、教会へつながる私達も、今日、又明日へと楽しみの日々をつなげたいと思っています。



実践項目集計 (4月)

百万軒にをいかけ	53,588	軒
おさづけのお取次	4,459	回
身上事情お頼み	952	件
提出教会	121	ヶ所

立教166年 全教一斉にをいがけデー

にをいがけは、教会、地域、よふぼくの日常的な信仰活動です。

日々、人の幸せを願い、コツコツ積み重ねる一人ひとりの努力、
更には、全支部布教日設定によるにをいがけ活動、その動きを一手
一つに結集し社会に向けて全教が挙って力強く信仰の喜びを伝え、
次なる歩みにつなげていく、これが全教一斉にをいがけデーです。

教祖120年祭に向け、「全家庭へにをいがけ」を目標に、教会、
地域を問わず、勇んで掛からせて頂きましょう。

《 期 日 》

9 月 1 日 ～ 3 0 日

笠岡大教会布教強調月間

9月28日、29日、30日

一 斉 活 動 日

《 内 容 》

戸別訪問、リーフレット、チラシを配布。

(出来れば、2人1組で、手渡し、声掛け)

《 報 告 》

参加者数を支部へ報告、教会で参加者名簿の作成をお願いします。

『ふうふそろうてひのきしん
これがだいいちものだねや』



第 7 4 9 期 修 養 科 募 集 要 項

*** 修 養 科 期 間**

立教166年9月1日～11月27日

*** 教 養 掛**

3ヶ月間	佐藤道孝	(大教会役員・芳井分教会長)
1ヶ月目	池平武司	(錦ヶ原分教会長)
2ヶ月目	佐藤憲美	(久福分教会長)
3ヶ月目	掛谷和由	(福南分教会長)

*** 募 集 要 項**

- ・志願者は、9月末日現在で満17歳以上で、下表の必要書類を携え、上級教会を經由して大教会に順序参拝すること。
- ・8月25日までに笠岡詰所に入所し、教養掛の面接を受けること。
- ・3ヶ月の修養期間を修了後は、大教会での修養科修了講習会を受講し、11月29日の昼食後に解散。

*** 教 科 書 (必須)**

『おふでさき』、『みかぐらうた』、『天理教教典』、『稿本天理教教祖伝』、『よふぼく手帳』。

*** 参 考 書 (出来れば持参)**

『おてふり概要』、『なりもの練習譜』(笛・打楽器または三曲)、『おやしき・史跡案内』。

*** 携 行 品**

おつとめの扇、筆記用具、認印、笛(男鳴物の講義で笛と小鼓の内、笛を選択する人のみ)。

*** 服 装**

ハッピー及び帯・バンド、長ズボン(又は、それに類するもの)、靴。

書 類	大教会	詰所	備 考
「順序参拝票」	○	○	
「別席願」	○	○	・「初席願」の順序参拝がまだの者で、修養科入学後に初席を運ぶ者のみ。
「席札」		○	
「別席のしおり」	○	○	・願書に日付を入れない事。
大教会 御供	○		・おさづけの理拝戴願の順序参拝も合せて行なう。
本部 御供		○	・「別席の誓いの言葉」は別席の誓いの日までに覚えること。
「おさづけの理拝戴願」	○	○	・「おさづけの理拝戴願」の順序参拝がまだの者のみ。
「おはなし」	○		・願書に日付を入れない事。
大教会 御供	○		
本部 御供		○	
「修養科入学願」		○	・御供は任意であるが、慣例により、200円以上。
「修養科入学事由書」		○	
修養科入学御供	○		
「住民票」または「戸籍抄本」		○	・「戸籍記載事項証明書」、「身分証明書」でもよい。

こころの詩

▽今回の課題は「切」、撰六十八句中、笠岡に繋がる教友の方三名、三句が見事撰ばれ掲載されていましてので転載させて頂きます。おめでとうございます。

準秀詠

芳井分教会長夫人 佐藤 香苗

一切を神に委ねて

つくす誠

準秀詠

川島郷分教会前会長 香取 敏子

切り替える心に

神の守護を受け

佳詠

芳阪布教所長 杉原 幹夫

切れかけた用木

目覚め旬に生き

養徳社発行

『陽気』誌七月号、「道柳」より転載

どうぞ、この「かさおか」誌に於いても、ジャンル、自薦他薦は問いません、ドシドシ読者の皆様方の才能溢るる作品のご寄稿を、お待ちしております。

『よくをわすれてひのきしん
これがだいいちこえとなる』



表紙のちぎり絵

・本年上半年、書家であり、布教所長さんでもある三宅白城さん(本名八寿夫さん)にご多忙の中、ご執筆の労をお願い致し、表紙を飾らせて頂きました。素晴らしい書に託された氏の心までお伝え出来ないのが心残りです。六ヶ月に亘り、楽しませて頂き、誠に有難うございました。

・下半期より福芦分教会前会長夫人竹本久子さんに和紙を使つてのちぎり絵を表紙に飾らせて頂く事になりました。押し花の如く、繊細で、且つ、厚みのある作品をそのまま表現出来ないのが残念ですが四季感溢るる作品であります。お楽しみ下さい。

祝！笠岡ワールドフラザース 全国大会出場

去る七月十三日、地区代表を
かけ、岡山大会チームと軟
式野球の試合が行われる予定
であった。折からの長雨で、対決することなく、抽選で勝利の女神が我が
チームに微笑んでくれた。二年ぶりの本大会出場である。名前の通り、野
球を通して、お道に繋がる者の親睦を図り、また、これを通じて用木にな
る方も出来てきています。野球好きな方ならでも入団出来ます。
集まれ若人よ！めざせ！ワールドフラザース

六月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に会長上原理一慎んで申し上げます


親神様には「月日にハセかいどう、ハみなわが子 たすけたいとの心ばかりで」と一列子供かわい親心の上から只単に十全の御守護でお育て下さるばかりでなく「ぢしんをふかせ水つき」や身上・事情を通して陽気ぐらしに向かう心の成人をお促し下さっております事は誠に有難く勿体ない極みでございます。しかしながら親心が分からず天災や身上・事情から逃げようとするばかりで苦しみにあえいでいる人が多くいます事は誠に申し訳なく私共は御恩報じを念じつつ朝夕に御礼申し上げると共に親心の有難さやたすけ一条の大切さを一人でも多くの人に伝えるべく日々はにをいがけおたすけにと勤め励ませて頂いております

その中にも今日の吉日はこれの笠岡にお許し下された御祭日でございますので只今から寄り集いました理に繋がる道の子供達と相共におつとめ奉仕者一同たすけ心も一汐に陽気に勇んで座りづとめてをどりをつとめて六月の月次祭を執り行なわせて頂きます。皆のおつとめに込める真実の状を御覧下さいまして親神様にもお勇み下さいますよう御願ひ申し上げます。さて教祖百二十祭地方講習会開催もあとわずかとわすかとなってまいりました。ほとんどのよぶぼくが参加したと思われませんが未だに参加出来ずにいる方もおられます。あと十日精一杯参加の呼びかけをさせて頂く所存でございます。加えてこの地方講習会を通して教祖年祭に向けての成人の歩みの大切さを教えて頂きました。笠岡に繋がるお互いは心一つに合わせて実践項目の実動によりいよゝゝ成人の歩みを進めさせて頂く覚悟でございます

又第五十回記念の子供おぢば帰りを目前にしたこの旬に本日は縦の伝道講習会を開催させて頂き少年会活動の重要性を再確認し少年会活動によって育てて頂いた自分達の経験もふまえて子供おぢば帰り募集と共に道の後継者育成の上に力注いでいく所存でございます。更には又今月二十五日より本部の西境内地拡張整備ふしんが始まります。一人でも多くの人で土持ひのきしんをさせて頂きおぢばへ真実の伏せ込みをさせて頂く所存でございます。何卒親神様には旬々に当たり親の思いをしっかり受けとめ御用に専心する皆の真実の心をお受け取り下さいますようお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます



いよいよ今回で五十回目となることもおぢばがえりが、親里で開催される。今年は連日降り続く長雨の天候にも動せず、各会場準備にひのきしんに勤しまれる方々の誠実のお陰で、着々と整備、受け入れが整って来ているとの事である。子供達に、親里で一つでもひのきしんをさせて頂きたい親心で始まったこの行事。今年は、西境内地拡張整備と相まって、初心に立ち帰り、大いに土持ちひのきしんに汗を流したいものである。天理教という枠を越え、こどもたちに・・・



実践項目集計 (5月)

百万軒にきいがけ	56,458	軒 回 件 所
おきつけのお取次	5,068	
身上事情お願ひ	650	
提出教会	121	